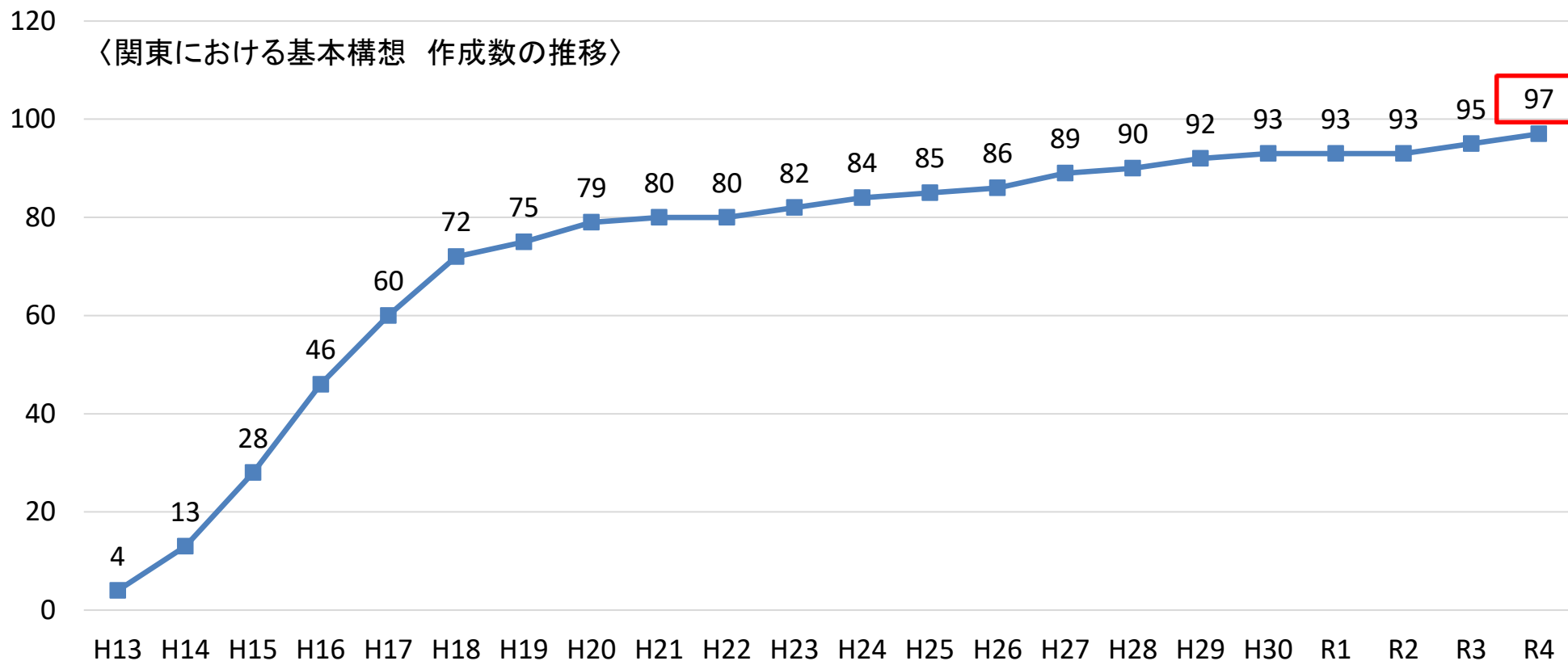


# 関東における基本構想・マスタープランの作成状況

---

# 関東における基本構想の作成状況 (令和4年度末時点)

- 関東における基本構想は、97市区町において作成されており、作成率は28.3%となっている。
- 人口規模が比較的大きい「市・区」で見ると、作成率は約4割となっており、そのうち政令市・中核市・特別区は7割以上となっている。



	全国		関東				町	村		
	作成数	作成率	市・区	政令市	中核市	その他の市			特別区	
作成数	321 / 1741	18.4%	97 / 343	42.6%	100.0%	75.0%	32.4%	91.3%	5.0%	0.0%
作成率	18.4%	28.3%	92 / 216	5 / 5	9 / 12	57 / 176	21 / 23	5 / 100	0 / 27	

# 都県別 基本構想の作成状況 (令和4年度末時点)

- 都県別に見ると、神奈川県(51.5%)、東京都(50.0%)が比較的高い作成率となっている。

	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	山梨県	関東合計	全国合計
作成数	7	9	3	11	15	31	17	4	97	321
作成率	15.9%	36.0%	8.6%	17.5%	27.8%	50.0%	51.5%	14.8%	28.3%	18.4%
	7 / 44	9 / 25	3 / 35	11 / 63	15 / 54	31 / 62	17 / 33	4 / 27	97/343	321/1741
うち市・区の作成率	21.9%	57.1%	25%	22.5%	40.5%	63.3%	78.9%	30.8%	42.6%	36.2%
	7 / 32	8 / 14	3 / 12	9 / 40	15 / 37	31 / 49	15 / 19	4 / 13	92/216	295/815

※赤塗り箇所: 全国平均以上  
 ※青塗り箇所: 全国平均以下

# 関東におけるマスタープランの作成状況（令和4年度末時点）

- バリアフリー法の改正において、マスタープラン制度が創設（平成30年11月施行）。
- マスタープランは移動等円滑化促進地区において、面的・一体的なバリアフリー化の方針を示すもの。
- 関東におけるマスタープランは、9件作成されている。
- 全国では34件作成されている。

	大田区	千葉市	春日部市	戸田市	新宿区	武蔵野市	日野市	調布市	目黒区
作成年月	令和2年3月	令和3年3月	令和3年4月	令和3年4月	令和3年11月	令和4年3月	令和4年6月	令和4年4月	令和5年2月
名称	大田区移動等円滑化促進方針（おおた街なか“すいすい”方針）	千葉市バリアフリーマスタープラン	春日部市中心市街地バリアフリー計画	戸田市移動等円滑化促進方針（バリアフリー促進方針）	新宿区移動等円滑化促進方針	武蔵野市バリアフリー基本構想2022 ※マスタープランを兼ねる	第二次日野市ユニバーサルデザインまちづくり推進計画	調布市バリアフリーマスタープラン	目黒区移動等円滑化促進方針及びバリアフリー基本構想

※関東運輸局管内では、R5年6月現在までに杉並区も公表済み。  
（基本構想を改定し、マスタープランを兼ねる内容としている）